

四日市港管理組合議会ニューズ

Yokkaichi Port Authority Assembly

第 12 号(平成 22 年 9 月発行)

さる 7 月 20 日(火)に平成 22 年第 2 回定例会が開会され、同月 28 日(水)に一般質問が行われ閉会しました。

今回は、小林正人議員(三重県議会選出)、山本里香議員(四日市市議会選出)の二人が四日市港港湾行政に関する質問を行い、管理組合執行部に答弁を求めました。

主な質問・答弁要旨

小林正人 議員



○ **航路誘致対策として、今現在どのような取り組みをしているのか。また、誘致に対する課題等あればどのようなものがあるのか。さらには、四日市港の利用率が低いのは航路サービスが充実していないことにあり、より荷主の声を聞いて充実させる必要があると思うが、どのように考えているのか。**

◎ 航路誘致対策としては、入港料などに係るインセンティブの実施や主要荷主との協働による航路誘致活動などを行っており、その結果、4 月にベトナム、インドネシア等への航路が開設されるなど東南アジア方面の航路の利便性が大きく高まりました。課題としては、中国華北・華中方面において、潜在的な貨物量が多い割に四日市港の利用率が低く、また荷主企業からも新規航路の開設などの要望が強いため、両航路の誘致が必要だと考えています。

そこで、基幹航路に限っていた航路誘致補助事業の対象を、8 月を目途に中国華北・華中航路にも拡大し、船会社に積極的に働きかけていきたいと考えています。

山本里香 議員



○ **霞 4 号幹線について、国土交通省の調査によると国道 23 号の交通量が減少傾向にある中、みえ川越 IC に直結することは必要なのか。数値的に効果を知らせて欲しい。**

また、経費の節約として、今建設中の橋脚部分から国道 23 号天カ須賀地点へ直結した場合、効果の違いはあるのか。

◎ みえ川越 IC までの所要時間について、国道 23 号を利用した場合、混雑時平均速度 20 キロで計算すると、みえ川越 IC までは 14,5 分かかります。対して霞 4 号幹線の場合、設計速度 50 キロで計算すると所要時間は 6,7 分となります。

また、天カ須賀の地点で接続した場合、新たな交差点が設けられることから、渋滞箇所が増え大気環境の悪化が懸念されます。定・即時性についても、霞 4 号幹線に比べて劣ることは容易に考えられます。管理組合としては、「国道 23 号の環境負荷低減」「定・即時性の確保」という 2 つの目的が達成されないため、国道 23 号に途中接続することなく、みえ川越 IC まで円滑に連絡することが必要であると考えています。

※ 詳細な質問答弁等については、当組合議会ホームページ会議録をご覧ください。